



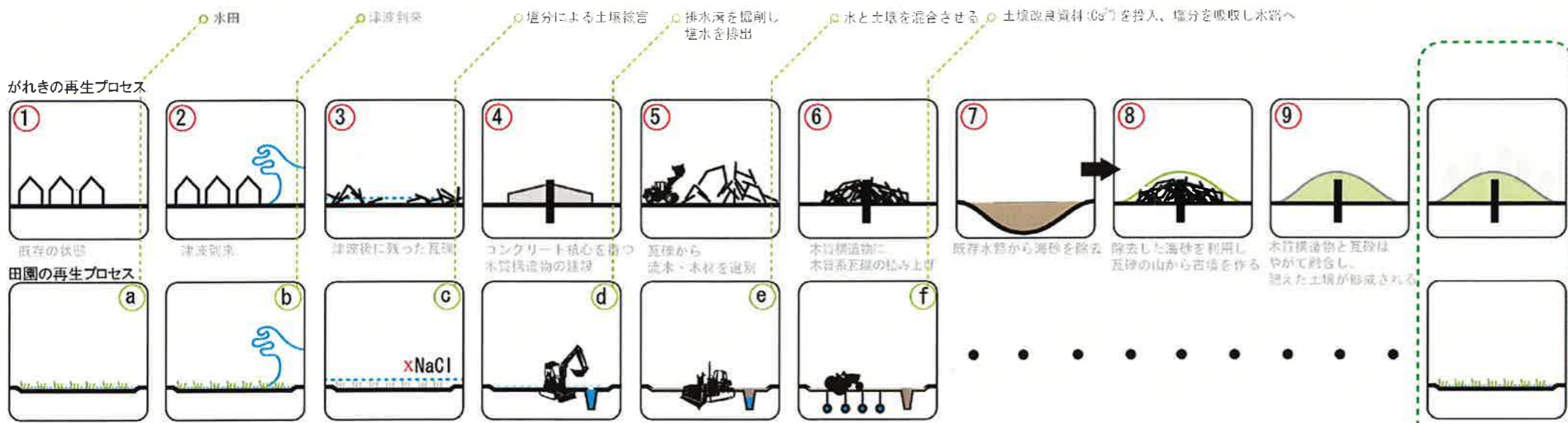
Future Vision 1 (5-10年後)
築山が田圃の生態系を復活させる

Future Vision 2 (10-20年後)
丘の上に人々が住み、里山になる

DESALINATION MOUNDS

津波によって防風林が流された今、沿岸の田圃地域では大量の流木の処理と、塩害が深刻な問題となっている。これらを積み上げた「古墳」を築くことで、土壌を除塩し、水田と生態系を復活させる。これら築山は失われた過去の鎮魂とともに、慣れ親しんだ風景を取り戻し、未来の住まいの拠り所となる。

1. 水田の復活
石灰系土壌改良剤を浸透させたがれきが盛り土される。毛細管現象によって、土壌内の塩分が築山に吸い上げられる。築山を通して除塩された水が、水路のネットワークを通して田圃を浄化する。がれき、流木は堆肥となって周辺の環境を潤す。
2. 生態系の復活
対象地域には、鳥類273種が確認された日本有数の干潟がある。海岸の地形そのものが変わってしまった今、生態系も大きなダメージを受けているとの報告がある。古墳を配置し、浄化された水のネットワークと緑を形成することで、以前干潟にいた多様な生物種を再びこの地に呼び込む。



水田の土壌復元とともに新たなランドスケープが形成される

